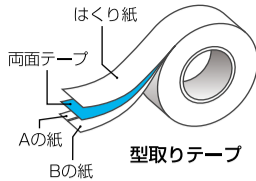


# 家のお手入れ



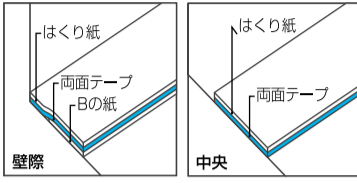
## 型取りテープを使う方法

クッションフロア用の両面テープには、床に貼る面にもはくり紙がついていて、AとBに分かれるようになっている「型取りテープ」という商品もあります。これを使うと床材の型取りが簡単にできるので、クッションフロアをきれいに敷き込むことができます。床材の張り方は、クッションフロア用両面テープと基本的には同じですが、壁際の処理は以下を参考にしてください。



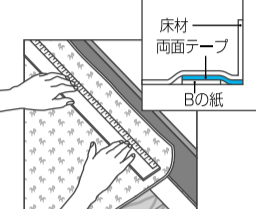
### 1 部屋の周囲と中央にテープを貼る

両面テープと同じように部屋の周囲と床材を中央部分に型取りテープを貼る。ただ、周囲にテープを貼るとき、型取りテープのAの紙だけをはがしながら貼ること。中央は型取りをする必要がないので、A、B両方の紙をはがして貼ればよい。



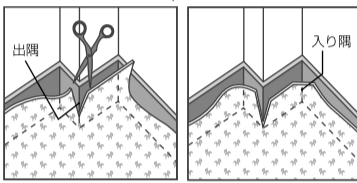
### 2 壁際の型を取る

床材を貼る位置を決め、中央のテープで床材を固定してから、壁際に貼ったテープのはくり紙をはがして床材を接着させる。このとき、金属製の定規などを壁際に当て、たるみが出ないように角までしっかり押さえて、型を取るのがコツ。



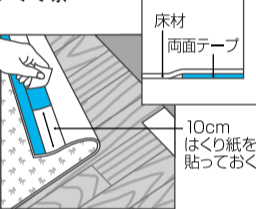
### 3 床材を本切りする

ここで床材をいったんはがすと、床に貼っていた型取りテープが床材の裏について一緒にはがれる。そのA側のラインが壁面の型になっているので、その線にそって、ハサミで余分を切り離す。



### 4 床材を本張りする

型取りテープのBの紙をはがして、床材を床に押し付けて貼る。その後、両面テープで張るのと同じ方法で2枚目との柄合わせをする。



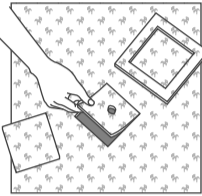
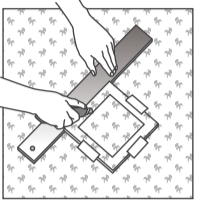
## クッションフロアの敷き方

### One Point Advice

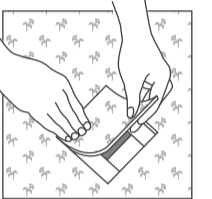
#### クッションフロアの部分的張り替え

部分的に破れたり、タバコなどで焼け焦げができた場合、同じ色柄のクッションフロアの端材があれば、その部分だけ張り替えて修繕することができます。

床材と同じ色柄の端材をキズ部分より大きめに切り、柄を合わせて重ね、布粘着テープで固定。定規を当てキズ部分より大きく四角にL型カッターで2枚一緒に切る。



布粘着テープをはがして新しい床材をはずしてから、古い床材をカッターの先などを使ってはがす。床面に接着剤がついていたら、金ペラや粗いナイロントワシなどで接着剤をできるだけ取り除く。



クッションフロア用両面テープを床面に貼り、新しいクッションフロアをはめ、継ぎ目をクッションフロア用シーリング剤で埋める。

## クッションフロアの敷き方

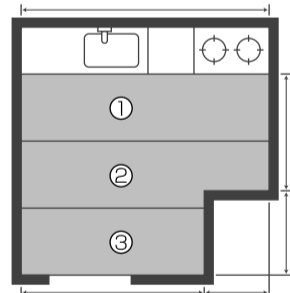
防水性、防音性、弾力性があるクッションフロアは、色柄も豊富なため、台所や洗面所の床のリフォームに最適です。

### 用意するもの

- クッションフロア
- クッションフロア用両面テープ
- 巻き尺
- 大型カッター、ハサミ
- 金属製の定規、押さえペラ
- マチ針
- ガムテープ
- クッションフロア用のシーリング剤
- アクリル系充てん剤

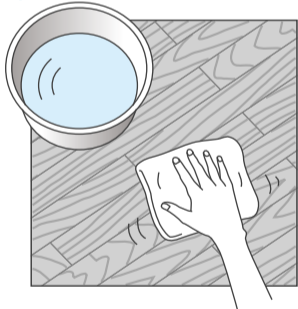
### 1 見取り図を作り、床材の必要量を計算する

部屋の寸法を計って正確な見取り図を作成し、床材の幅(90cmか180cm)で計画線を入れて必要な長さを算出。それに、それぞれの両端に約5cmの余分と、柄合わせの分を入れて計算する。購入する際に、見取り図を持って担当者に相談するとよい。



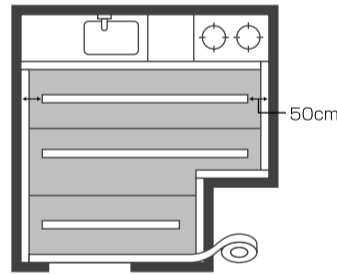
### 2 床を洗剤拭きする

床が汚れているとテープがしっかりとつかないので、そうじ機をかけたあと、住まいの洗剤で拭き掃除をしておく。台所など油污のある床面はアルカリ性洗剤で拭いた後、水を拭きして乾燥させておくこと。



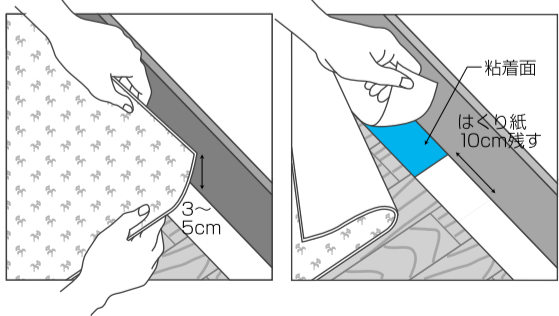
### 3 クッションフロア用両面テープを床に貼る

壁際にピッタリ合わせて部屋の周囲に両面テープを貼ったあと、浮き上がりを防ぐため、床材の中央になる部分にも壁から50cm離して両面テープを貼る。



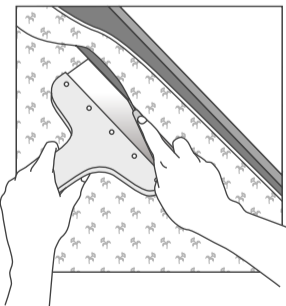
### 4 1枚目の床材を貼る

ロールになっているクッションフロアを1枚につき両端5cmずつの余分(計10cm)を加えた長さに切り離す。柄の位置を考えて、壁際から3~5cmほど余った状態になるように1枚目の床材を貼る位置を決め、中央に貼った両面テープのはくり紙をはがして床材を固定する。床材の端の位置に合わせてカッターで両面テープのはくり紙に切り込みを入れてから、貼る部分のはくり紙をはがす。このとき、2枚目との柄合わせがしやすいように、継ぎ目になる部分は10cm程度はくり紙を残しておくこと。



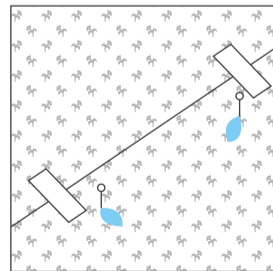
### 5 1枚目の床材を切る

押さえペラで床材を押しさつてしっかりと角を出してから、カッターの刃を壁に向けて切る。



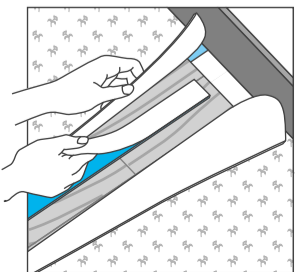
### 6 2枚目との継ぎ目の柄を合わせる

1枚目の床材の継ぎ目に2枚目の床材を重ねて柄の位置を合わせる。このとき、マチ針で上の柄と下の柄の同じ所を差して、2~3カ所止めると確実。きちんと柄が合ったら、布粘着テープで2カ所ほど仮止めする。2枚目の中央の両面テープのはくり紙をはがして固定する。



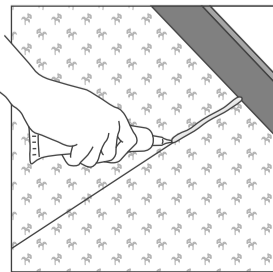
### 8 継ぎ目を張り合わせる

両方の継ぎ目を少し持ち上げ、テープの中央が継ぎ目にくるように両面テープを床に貼り、そのはくり紙と最初に10cm残しておいた壁際のはくり紙をはがして、しっかりと押しつけて貼る。その後、1枚目と同じ要領で2枚目の壁際の余分を切り取って床に貼る。



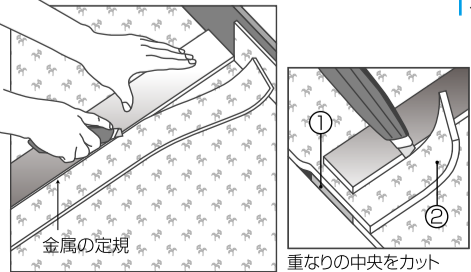
### 9 継ぎ目をシールする

3枚目以降も同様に貼り、すべて貼り終わったら、水やゴミの侵入、めくれ防止のため、継ぎ目をクッションフロア用のシーリング剤でシールする。



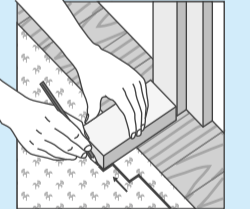
### 7 2枚目以降に切る

2枚目の中央の両面テープのはくり紙をはがして固定してから、1枚目と2枚目の床材が重なった部分の中央に金属製の定規を当て、大型カッターで2枚を1度に切る。切り終わったら①と②の切れ端を取る。



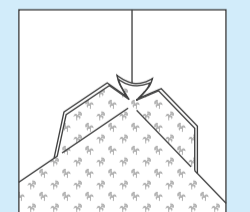
### ●凹凸部分

床材を壁と平行に少し離して置いてから、かまぼこの板など(幅定規を使ってもよい)を壁に当ててずらしながら、先の細い水性ペンで正確に壁面の型を写し取っていく。その後、カッターかハサミで型の線に沿ってはめ込む。



### ●コーナー部分

他の壁際を仕上げた後、少しづつ切り込みを入れながら押さえペラできめ込んで角を出し、押さえペラを当ててカッターで切る。



### ●隅に大きな柱がある部分

周辺の壁際を仕上げる前に床材を持ち上げて角の部分に床材を床に当て、そこまで切り込みを入れてから、壁際をきめ込みで切る。

